

2026 年 8 月 19 日
株式会社電通 PR コンサルティング

電通 PR コンサルティング、電通デジタルと共同で メディア露出と生成 AI 回答の関係性を基点に、 生成 AI 時代の情報設計を支援する GEO 研究プロジェクトを発足

株式会社電通 PR コンサルティング（本社：東京都港区 代表取締役社長執行役員：山口 恭正 以下、電通 PR コンサルティング）は、株式会社電通デジタル（本社：東京都港区 代表取締役社長執行役員：瀧本 恒 以下、電通デジタル）と共同で、GEO（生成エンジン最適化）領域における共同研究プロジェクトを発足しました。メディアを通じた情報発信を基点に、生成 AI に対する企業・商品情報の認知向上と最適なブランド構築を支援します。

生成 AI 技術の急速な普及に伴い、生活者が企業や商品・サービスの情報に触れる接点は、従来の検索エンジンやニュースサイト、ソーシャルメディアだけでなく、生成 AI との対話へと広がりを見せています。こうした変化の中、生成 AI が自社をどのように認識し、どのように語るかを正確に把握することは、企業の広報・マーケティングにおける新たな課題となっています。

そのため企業には、生成 AI の有力な情報源となるメディアでの露出を踏まえ、生成 AI に自社の情報が正しく理解され、正確に参照されるための情報発信設計の最適化が求められています。

本プロジェクトでは、電通 PR コンサルティングの PR 戦略、メディアリレーションズおよび情報流通設計に関する知見と、電通デジタルのデジタルマーケティングおよびデータ分析力を掛け合わせ、従来の PR 活動や SEO（検索エンジン最適化）の枠組みを超えた GEO 領域の取り組みを展開します。ウェブ媒体などのメディア露出が生成 AI の回答に与える影響を分析し、新たな広報・マーケティングの評価指標を確立することで、生成 AI 時代に最適化されたワンストップの情報発信を支援します。



【本プロジェクトの取り組みについて】

■STEP 1：現状把握

自社および競合他社のメディア露出状況（対象メディア、切り口、論調、評価など）を定量・定性の両面から把握します。併せて、主要な生成 AI プラットフォーム上で自社の商品・サービスがどの程度、どのように言及されているかを可視化し、現状を捉えます。

■STEP 2：関係性の分析

どのようなメディア露出が生成 AI の情報源として引用・参照されやすいかを調査・分析します。これにより、これまでの PR 活動が、生成 AI 上での認知や理解にどうつながっているかの関係性を明らかにします。

■STEP 3：情報発信の設計

生成 AI に正しく理解され、正確に情報が扱われることを見据えた情報発信の在り方を設計します。メディアを通じて企業の一貫したメッセージが生成 AI に認識されるような文脈・ストーリーを設計し、その文脈を自社公式サイトやオウンドメディアなどの公式情報にも反映させながら、生成 AI が正確に解釈しやすい全体の情報構成を構築します。

■STEP 4：効果測定指標の開発と継続的な施策改善

従来のメディア露出指標だけでなく、生成 AI 上での言及率や自社情報がどのように認識・参照されているかなど、生成 AI 時代に対応した新たな広報・マーケティングの効果測定指標を開発・活用し、施策における継続的な改善を支援します。

電通 PR コンサルティングと電通デジタルは今後も、生成 AI 時代における企業コミュニケーションの最適解を追求し、GEO 領域の継続的な研究・知見の発信を行っていきます。また、変化する市場環境に迅速に対応し、企業のブランド価値や商品価値を最大化する次世代ソリューションの開発と提供を推進してまいります。

以 上

<電通 PR コンサルティングについて><https://www.dentsuprc.co.jp/>

電通グループ内の PR 領域における専門会社。1961 年の創立以来、国内外の企業、政府、自治体、団体の戦略パートナーとして、レピュテーション・マネジメントをサポートしています。データ分析を行い、そこから得られたインサイトに基づくコンテンツ開発と最適な情報流通デザインを通して、クライアントと共にソーシャルイノベーションへの貢献を目指しています。2009 年、2015 年には、日本国内で最も優れた PR 会社に贈られる「ジャパン・コンサルタンシー・オブ・ザ・イヤー」を、2018 年には「北アジア PR コンサルタンシー・オブ・ザ・イヤー」を PRovoke Media (旧 Holmes Report) から授与されています。